

ウェルビーイング を目指す学校経営

横浜市立六浦小学校
校長 尾上 伸一



自己紹介

・横浜市立六浦小学校 校長

・教職歴

①特別支援学校（中学部・高等部）教諭 4年間

②小学校教諭 2校 20年間

③横浜市教育委員会指導主事 7年間

④小学校校長 2校 10年間

・専門 特別支援教育 理科・生活科 総合的な学習の時間 学校評価

・テーマ インクルーシブスクールの具現化

学校評価PDCAを生かした学校経営

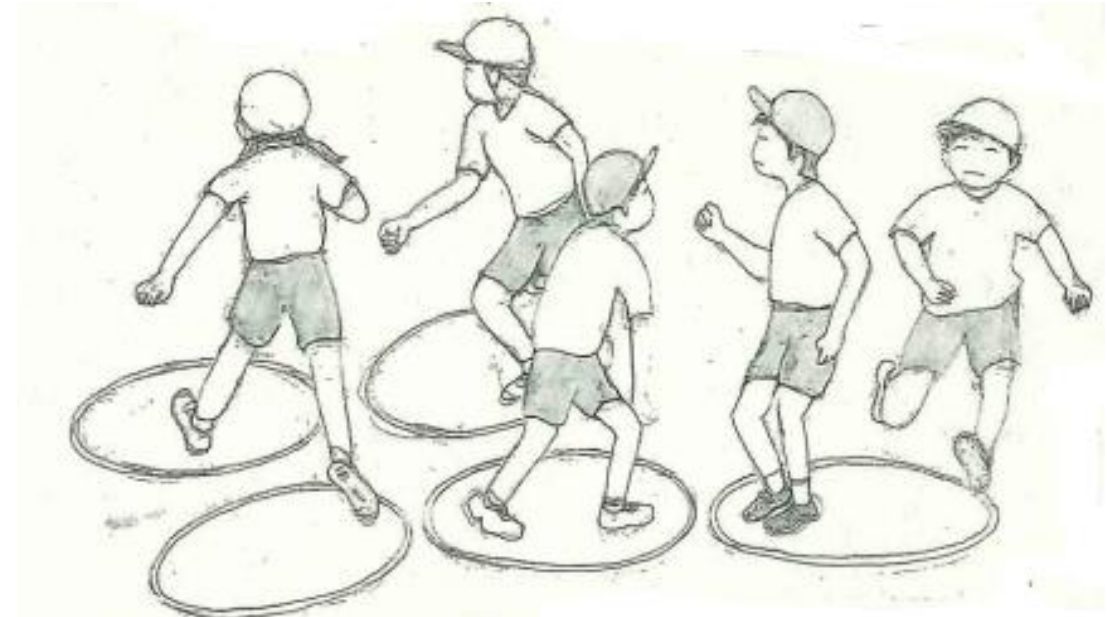
子どもの自然体験と協働活動を保障するカリキュラムの創造

なぜwell-beingに注目しているのか？

- ・ インクルーシブ教育と親和性が高いこと
 - ⇒ 障害のある子ども、障害のない子どもがともに地域の学校で学び、一人ひとりへの合理的な配慮の積み重ねが一人ひとりの多様な幸せにつながると共に学校全体、学校を中心とする地域全体の幸せにつながっていく
- ・ 良好な生活科・総合ベースのカリキュラムが求められること
 - ⇒ 体験から自ら考え、行動し、新たな価値を創造していく力を獲得する開かれた学習の過程で子どもはwell-beingを実感している

ウェルビーイングを目指す 学校経営で大切にしていること

- ①学校評価システムの構築
- ②学校の強み・人材を生かした教育課程の編成改善
- ③児童指導・教育相談体制の確立
- ④特別支援教育の柱のある学校運営



ウェルビーイングを目指す学校経営

① 学校評価システムの構築

○経営ビジョンと具体的な取組を明確に示す

- ・豊かな体験と温かな人の輪の中で安心して学ぶことのできる学校づくり
- ・特別支援教育の柱と子ども、保護者の相談体制が確立している学校づくり

○ビジョンに基づく教職員の主体的な運営体制を確立する

- ・主幹教諭（・教育課程行事運営担当・児童指導教育相談担当・特別支援担当・地域連携人材育成担当）を中心とする学校運営部による自主的な学校運営

○自己評価を大切に運営改善にあたる

- ・毎週の振り返りを「校長室通信」にまとめ教職員間で共通理解
- ・年間2度（中間期と年度末）の自己評価 年間3度の教職員全員との校長面談
児童・保護者の評価によりwell-beingの状態をとらえる

○学校運営協議会と共に進めるコミュニティスクール構想

令和4年度 六浦小学校学校経営方針の構造



つながる なかま まち いきいき 六浦っ子
～ 持続可能な「花鳥風月」の学校づくり ～

知 → つとめて学びの道に励み花のように実を結ぶ子 徳 → むつみあう心で人に接し小鳥のように仲のよい子 体 → うまずたゆまず体を鍛え風のように強い子 公・開 → らんらんと瞳を輝かせ陽のように明るい子

確かな学力 豊かな心 健やかな体 六浦らしさ

知	徳	体	公・開
<p>○学年重点目標の実現に向けた教材研究を進め、評価基準の見直しを行い、各学年に応じた学習の基礎基本の力を育てます。</p> <p>○伝え合う力の向上を目指します。</p>	<p>○授業を通して「個」の育成に取り組み、人権への意識を高めます。</p> <p>○道徳の時間から全教育活動を通して、互いを認め合い、相手を思いやる態度を育てる。</p>	<p>○体育・健康プランに基づく「なわとび」を通じた年間取組で体力の向上を図る。</p> <p>○特活「学級活動」の中で健康や食に関する授業の充実を図る。</p>	<p>○まちの人とのつながりを意識し、地域とのふれあい活動を通して、まちを愛する心を育てる。</p> <p>○開校150年に向かう歴史を持つ学校に対する愛校心を育てる。</p>

六浦小学校の重点取組（令和4年～6年）

特別支援教育	児童指導	地域連携
<p>全教職員がチームとなって特別に支援が必要な子どもの指導・支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別教育支援計画、個別指導計画を作成し、特別な支援が必要な子どもの現状について全校で理解を深める。 ユニバーサルデザインの授業づくりを念頭に個に対する具体的なモデルステップを考えた教育環境設定と学習支援にあたる 	<p>組織としての情報共有を大切に、初期対応、チーム対応の徹底を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりについての理解を深める。 児童支援専任を中心とする日々の情報共有システムを構築し、初期対応力を、必要に応じてケース会議を開き、関係機関との連携しての対応力を高める。 組織の中に「いじめ防止対策委員会」を位置づけ、組織的な情報共有を図る。 	<p>まちの「人」「自然」「文化」「歴史」とのつながりを意識し、まちを愛する心を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活科・総合的な学習の時間の年間指導計画を「六浦らしさ（公・開）」を育てるカリキュラムとして編成する。 学校運営協議会を基盤とした創立150周年実行委員会の運営にあたる。 教育ボランティア、見守り隊、地域防災拠点運営委員等の地域の学校支援組織との関係強化にあたる。

特別支援教育の柱立てのもとに社会に開かれた教育課程の編成・運営・改善を図る。

★ 幼保小中で一貫させる地域内での子どもの学びと育ち

幼稚園・保育園との連携	六浦中学校ブロックでの具体的取組	キッズ、学童クラブとの連携
<p>○六浦地区で幼保小の職員どうし、お互いの顔が見える関係を築いていく。</p> <p>○幼保小がそれぞれの教育活動の理念と実際を共有して、一貫した子どもの学びと育ちを考えていく。</p>	<p>①相手意識をもち、偏見や差別やいじめに対して「おかしい」と言える子の育成</p> <p>②あいさつ運動を通して気持ちのよい挨拶ができる子の育成</p> <p>③主体的に学習に取り組み、自ら問いを立て自ら解決できる子の育成</p>	<p>○学校内にあるキッズクラブ、学区内にある3つの学童クラブと子どもの健全育成の視点で情報共有と連携を図る。</p> <p>○学区内にある様々な子育てサークル、社会福祉協議会等との取組を理解する。</p>

六浦小学校の強みを伸ばす 人材育成と組織運営

<p>①主幹教諭を中心としたお互いが信頼し合う校内組織を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭それぞれの役割の明確化と相互の連携 職員ひとり一人がテーマをもった自主的な組織運営 校内初任者研修、メンター研修の充実 	<p>②分かる授業づくりに向けた研究体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの授業づくりと環境設定への研鑽 体験からの問題づくりを大切に、言語活動を充実 地域と共に行う「自分づくりの力」を高めるカリキュラム編成 	<p>③こどもが豊かに安心して生活できる地域連携体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校ボランティア、外部講師、地域人材・施設等の活用 ★設置3年目の学校運営協議会・地域交流室を軸に創立150周年（翌年）からの学校の姿を想定
--	--	--

①むつみあう心で人に接し、小鳥のように仲のよい子



②つとめて学びの道に励み、花のように実を結ぶ子



③うまずたゆまず体を鍛え、風のように強い子



④らんらんと瞳を輝かせ、太陽のように明るい子



「活力と魅力にあふれた学校づくり」(～令和3年度)
⇒ 持続可能な「花鳥風月」の学校づくり (～令和6年度)

職員の行動基準 「子どものため」を基準に行動する

- ① 子どもに寄り添う ② 地域に開く ③ 働き方を改めて考える

学校教育目標の実現 「つながる なかま まち いきいき 六浦っ子」

むつまじく心で人に接し、	小鳥のように仲のよい子	徳 知 体 公・開
つとめて学びの道に励み、	花のように実を結ぶ子	
うまずたゆまず体を鍛え、	風のように強い子	
らんらんと瞳を輝かせ、	太陽のように明るい子	

○ 学校経営計画の運営・改善

■ 全職員の意見を反映する学校評価PDCA

※創立150周年(令和5年度)に持続可能な教育システムと教育環境をもつ学校へと成長させる

- ・ 主幹教諭がリーダーとなる学校運営部 ①教育環境整備(安全・防災) ②学力・教師力向上(研修・研究)重点研 ③豊かな心育成(児童指導)人権 → 学校評価を生かした組織運営
- ・ 多忙化解消につながる学校行事等の精選、精査 → 年度中途での運営、改善
- ・ 7月自己目標からの校長面談⇒夏休みの自己評価⇒学校運営の改善⇒12月経営計画の反省⇒次年度に向けての校長面談⇒次年度の学校経営方針の設定
- ・ **検討課題** 3学期制を検討 運動会の春の実施の検討

■ 創立150周年の令和5年度に向けて

- ・ 市民図書館、むつうら郷土資料コーナーを併設した「むつうらっ子図書館」の新設 (令和4年度中)
- ・ 令和3年度中にプレハブ校舎の撤去を申請 済 ⇒ 令和4年度中にはプレハブのない六浦小学校に変貌 ⇒ プレハブ跡地の活用を創立150周年事業に位置付けていく 済 (第1回150周年事業実行委員会) → **※花鳥風月の庭園** (※道路建設により失われる飛び地の緑、樹木林、学校水田、ハス田、四季の花花草壇、昆虫の森、児童観察・憩いの場の創出) ⇒ **※道路局建設課と教育委員会施設課、南部学校教育事務所との連携、支援のもと**
- ・ **検討課題** 校庭の一部芝生化 (令和4年度 春 200㎡) 地域交流室事業として 全校児童による環境整備活動と結び付ける
- ・ 正門を登下校門として使用開始 → (※今後、安全確保・環境整備を継続させる)
- ・ 校舎に「むつうら 150」の大看板(※横断幕の設置) ⇒ (6年生(2組)の総合で取組を開始 → 花鳥風月になんだイラスト4枚と「むつうら」の校名4枚の計8枚を屋上手すりに業者により設置 済 **※横断幕**「六浦小学校創立150周年(仮)」…周年事業の一環として

※補修、改修等が求められる箇所

- ・ 正門全面改修 済 電子錠 防犯カメラの稼働確認 (※今後、安全確保の取組を)
- ・ 廊下ペンキ塗料の剥離・1年生、国際教室前廊下設置ロッカーの塗料剥離・校舎内各所の雨漏り (※令和4年度のおそらく夏休み期間中)

○ 組織的な情報共有

- ・ 児童指導、特別支援体制強化校 … 迅速な情報共有 危機対応力の向上 特別支援担当の配置
- ・ 児童指導情報共有 … 児童支援専任、養護教諭、副校長が働きかけ、組織編制したチームで毎日定時に実施(日々のカンファレンス・校内ケース会議) → 関係機関とのケース会議 カンファレンスにつなげる ⇒ 毎日AM30分程度 ※この時間帯に日々の児童指導対応情報を集める
- ・ 職員会議 … 月に1度
- ・ 職員打ち合わせ … 金曜日16時15分～(30分間) 連絡・調整事項が多い場合は、他の曜日にも実施 教務主任が調整
- ・ 級外職員打ち合わせ … 毎週金曜日8時45分～ 各級外職員の一週間の課題と気づきを共有 → 改善策とともに校長室通信や打ち合わせ、学年研等で全体共有

- ・ 危機管理意識の向上に向けて ⇒ **※六浦小学校「安心・安全」プログラム** ・感染症予防研修・給食スタンダード、嘔吐対応マニュアルに基づく職員研修 不審者対応、サイバー犯罪防止教室、研修 性と命を大切にプライベートゾーン教室、性教育 → これらの継続実施
- ・ 情報共有のデジタル化 「みらいむ」を活用した職員情報共有 学校HPの定期的な更新
- ・ 校長室通信を金曜日の職員打ち合わせと連動させて発行
- ・ 学校ホームページでのこまめな情報発信 「むつうらっ子ニュース」での日々の教育実践の紹介
- ・ **検討課題** 学校ホームページに「創立150周年に向けて」のコーナーを設定

学校の重点取組

- ◎ 教育課程・学習指導 (「知」「徳」「体」「公・開」)
 - ▶ 「**社会に開かれた教育課程**」を編成・運営 → 改善
 - ・ 自分づくり教育の推進(生活科・生活単元・総合的な学習を柱とする教科、道徳、特活、外国語活動と結びつけた教育課程) ⇒ **検討課題** **※SDGsとの関係性を意識して運営・改善** → **※創立150周年記念事業へと結び付ける**
 - ・ **検討課題** 評価についての検討 (・3学期制に対応するあゆみの形式 ・あゆみのスリム化)
 - ▶ 授業力向上
 - ・ 各教科担当、領域担当、メンターチームで積極的に授業を見合う取組を生み出す
 - ・ 図書室の有効活用、学校司書や養護教諭、栄養士の授業へのかかわり
 - ・ ギガスクールへの対応 済 ⇒ タブレット等ICT活用の推進 プログラミング教育の経年での展開
 - ◎ 特別支援教育・児童指導
 - ▶ 個別支援学級
 - ・ 個に応じた指導展開を可能にする人的配置 教室環境づくり
 - ・ 交流指導の積極的な展開 **職員全体での個別支援学級児童理解研修**
 - ・ 交流級担任と保護者との連携
 - ▶ 国際教室
 - ・ 国際教室＝外国につながる児童への日本語指導、教科指導、生活適応指導等を行う場であることの職場での一層の共通理解
 - ・ 外国につながる児童のコミュニケーションの力を高めるための交流指導・生活適応指導
 - ▶ 特別支援教室 (学習ルーム)
 - ・ サポート学習 ⇒ 個別支援計画に基づく取出しでの学習サポート
 - ・ 心サポート ⇒ 個々の悩みや課題に心理的なアプローチで対応 子どもの状況によって随時実施
 - ・ 特別支援担当がコーディネーター ⇒ リーダー⇒児童支援専任 指導⇒担当教諭、講師
 - ▶ 一般級での特別支援教育の充実
 - ★**授業のユニバーサルデザイン化を進める** 教室環境の共通理解
 - ・ 教科担任制、学年内での少人数指導など、多くの教員から学ぶ体制づくり
 - ・ ICTを積極的に活用した授業展開の工夫
 - ◎ 地域連携
 - ▶ 学校運営協議会(創設3年目)＝ 地域交流室運営を展開 (150周年記念事業委員会を兼務)
 - ▶ 地域交流室の運用を開始 **※PTA副会長が地域活動コーディネーターの資格取得**
 - ・ 創立150周年事業実行委員を兼ねる (※令和3年12月10日 実行委員会の発足)
 - ・ 学校運営協議会委員の中で、実務的な役割を担うことができる方をメンバーとする
 - ・ 現在の「教育相談室」を「地域交流室」として再整備 済 ⇒ 地域交流の視点での運用を開始
 - ▶ 学校運営協議会の実務レベルでの地域交流室での取組
 - ① 学習支援 ② 防犯、安全 ③ 環境整備 ④ 地域行事 ⇒ 創立150周年事業につなげていく
 - ア 学習支援 ・地域連携の教育活動の支援
 - イ 防犯、安全 ・地域防災拠点運営委員会 ・防災、安全計画 ・見守り隊との連携
 - ウ 環境整備 ・年間を通した子どもの自然体験が可能な場を創り出す取組を支援 **※校庭芝生**
 - エ 地域行事 ・地域行事へのかかわり ・地域交流室主催の子ども向けの行事を開催
- ⇒ **六浦小学校創立150周年時(令和5年度)に持続可能な教育システムと教育環境をもつ学校づくりを推進**

児童・保護者評価の考察

令和4年3月14日

保護者の皆さま

令和3年度 六浦小学校学校紙面説明会

ようす(書いてきた今日この頃です。保護者の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。まんまん防止策と授業の進捗を並進し、学年内交流やグループ活動ができないなど、我慢の日々が続きますが、子ども達は「今できることに一生懸命取り組もう」と日々の活動に励んでいます。

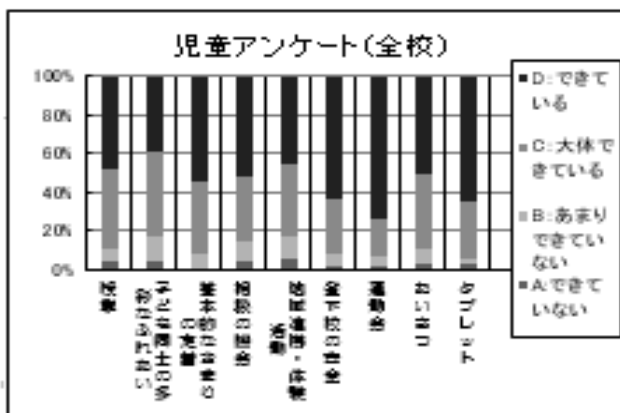
さて、今年度は体育館にお越しいたいて開催していた「学校紙面説明会」ですが、今年度も、感染防止の観点から紙面での開催とさせていただきます。ご了承ください。

(1)「かがや(六浦っ子)アンケートの結果報告(11月22日～12月1日実施)

1. 児童アンケートについて

感染予防対策のため、4・5年生の体験学習が2日間の日帰りになったり、ペアでの活動が十分できなかったり、したこと、「体験活動」に関することや、「多様なふれあい」といった面でのマイナス評価が見られます。このような社会状況でも、お子さんたちが満足できるように「体験」や「ふれあい」を支援していきたいと考えています。

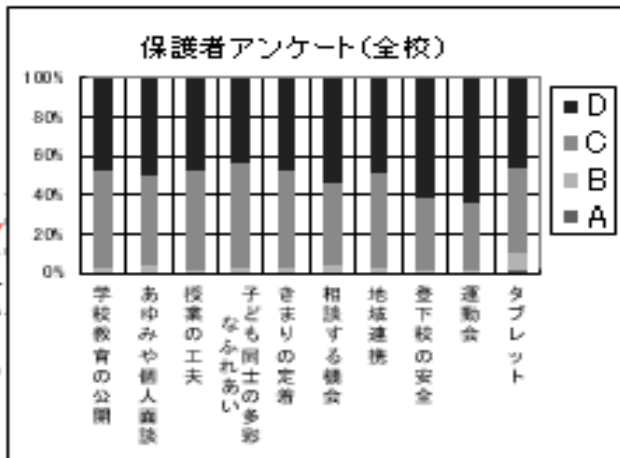
タブレットの扱いや交わってしまった日、常に対応し、日々の学習に励んでいる様子が行かれます。



2. 保護者アンケートについて

お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございます。今年度は、分級登校中にタブレットを使っているオンライン授業が、保護者から「オンライン授業」で提出していたりして、タブレットの使用に関して、「使い方の説明をもっと丁寧に」とか、「もっと多読できないか」といったご意見もいただいています。

全体的な結果は、次のようになっています。



自由な情報と提供

●よいと感じられた点

- ・コロナ禍における中、授業の工夫、また児童の安全の為に日々の献酬に、大変感謝している。授業では、自発的に考えるような内容や総合の時間に、机上では経験できないことをさせていただけ有難い。
- ・ホームページがアップされて学校の様子もわかって子どもと楽しく見えています。
- ・日頃より子どもたちの安心できる生活を提供いただきありがとうございます。
- ・西六浦交差点の下校時の見守り本当に感謝しています。授業も子どもたちが興味を引く工夫をしてくださっていると思います。
- ・今年度も昨年に引き続き宿泊体験がなく残念ではありましたが先生方が書えてくださった体験学習は有意義であったと思っております。
- ・算数のクラス割についてもとても満足しております。
- ・不審者や大雨のときに先生方が引導して豊田下校をしてくださっていて安心しました。
- ・学校の活動にボランティアとして関わることには、とてもありがたいです。
- ・今年は授業参観もあり、運動会も2人まで見に行くことができ、子どもたちの様子を見ることができてうれしく思いました。
- ・修学旅行の説明会がタブレットで見られたのは、とても分かりやすくよかったです。
- ・コロナで大変な中、可能な限り行事を開催していただき、子どもたちの思い出や経験を作ることができ、たいへん有難く思っています。
- ・タブレットを使って分級登校中もクラスでつながることができてよかった。

→今年度は、新型コロナウイルス感染予防のための分級登校があり、運動会はじめ、いろいろな行事が延期されたり、中止や急な変更がありました。また、引き続き、グループでの活動が思うようにできなかったり、会食や向きで給食を食べて、今年で3年連続で学校生活が続いています。文科省や市教委からのガイドラインもあって、安全を第一に教育活動を行っています。そんな中でも、例年に劣りなくたくさんのお褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。後継員一同これを励みに、より一層充実した教育活動ができるよう、励んでまいります。

●改善が必要と感じられた点

学習活動に関して

- ・相手を思いやる言葉をかけていける日常を、学校生活の中でも増やしていただけると嬉しい。
 - ・体育は体を動かし動かさない時でもマスクはしない方が良いと思われず、体育の時間はすべてつけさせない。血中酸素濃度が心配です。
 - ・新学期のノートのお知らせが遅い。春休み前に教えてもらえるとうれしい。
 - ・あゆみの表記が分かりづらい。具体的にどのような復習をすればよいのかなど、書いてほしい。
 - ・面談の希望日をずらすのがずっと先の時期なので、もう少し近くなってから希望を伝えてほしい。
 - ・個人面談は、学校と家庭でいるいるな情報を共有し合う貴重な機会なので、もっと長く時間をとってほしい。
- 日常生活の中で、相手を思いやる言葉を習慣し、生活できるように、道徳の時間や学校保健委員会などの活動を通して、日々の言葉を振り返り、実践できるように、支援していきます。
- 体育の時間でのマスクの着用についてですが、横浜市教育委員会のガイドラインに沿って、マスクを着用した上で、体育を充実させているが、熱中症のリスクがある際やマスクが苦しい際は、人との距離をとって外してもよいこととしています。心配がある際には担任へお知らせください。新学期使用するノートについてですが、学年便り

ウェルビーイングを目指す学校経営

② 学校の強み・人材を生かした教育課程の編成・改善

○ 1 学年～ 6 学年 特別支援学級・国際教室 全ての学級で生活科・総合ベースの「自分づくり教育」を展開

- ・ 体験と探究を大切にした「コンピテンシー」を身に付けていく学習活動
- ・ 地域人材、専門家、企業、商店、地域資源・環境・歴史・文化とつながる多様な学びを創出

○ 学校教育目標（花鳥風月）の実現に向けた教育環境の創出

- ・ 生活科・総合ベースの「自分づくり教育」実践の結果として生み出される教育環境を充実させ、地域の協力者を経年で学校に繋ぎとめる
- ・ 学校運営協議会を母体とする地域学校協力者と共に進める体験活動のカリキュラム化

○ 上記の授業を生み出す教師の人材育成

- ・ 体験と探究を大切にした「コンピテンシー」を身に付けていく学習の結果が子ども一人ひとりの well-being、学校～地域の well-being につながる ⇒ 教職員の働き甲斐 働き方改革



つながるなかま まち いきいき 大浦っ子

6月



雨の日の登下校 気をつけて

3年生 理科

花いっぱい
花だんに
たねまき

2年生 生活科 なつゆさいを
育てよう

5年生 総合
おいしいお米づくりと
生き物いっぱい
田んぼづくり



ウェルビーイングを目指す学校経営

③ 児童指導・教育相談体制の確立

○児童支援専任教諭を要とする児童指導体制の確立

- ・一人ひとりの児童の人格を尊重し、個性の伸長、社会的資質・行動力を高め、それぞれの人格のよりよき発達につなげる児童指導の合意と積み重ねのある教職員集団を児童支援専任教諭（児童指導専任教諭）を中心に確立する

○教頭（副校長）、児童支援専任教諭、養護教諭を要とする教育相談体制の確立

- ・一人ひとりの児童の教育上、養育上、家庭環境上の問題について、本人または保護者等から悩みや困難さを傾聴し共に考えよりよい方向に導くために日々努力する教職員集団を教頭（副校長）、児童支援専任教諭、養護教諭を中心に確立する



④ 特別支援教育の柱のある学校運営

○特別支援教育の柱建てで構築するインクルーシブ教育システム

- ・障害の有無、国籍、ジェンダー、家庭環境など多様な背景をもつ子どもたち一人ひとりが公平に共に学ぶ仕組みや環境を創出

○全ての子どもに安心できる学びの場や居場所を用意

- ・一般教室、特別支援学級、国際教室、特別支援教室、保健相談室、個別課題コーナー、心サポートコーナーを校内に用意し、それぞれの課題に応じた居場所づくりを可能とする

○交流教育の充実を促進

- ・特別支援学級の児童の交流級（一般級）での居場所、居心地の良さを配慮
- ・国際教室と一般学級で連携した外国につながる児童の生活力、コミュニケーション力の育成



ウェルビーイングを目指す学校経営

校長の日々の実践

①現場に出る

- ・ 子ども・教職員・保護者・地域住人のその日の様子をとらえる
⇒ 通学路・授業・休み時間・校外活動・給食、清掃等生活時間・打ち合わせ、会議・地域内各種会合 …
- ・ 一人ひとりの子どものwell-beingを表情、行動、他へのかかわりから見とる

②情報共有を図る

- ・ 一人ひとりの子どもの状態を教職員担当
チームを中心に共有する ⇒ (+面・一面)
(学習面・生活面) (学級学年担任・専門職や
担当チーム)
- ・ 情報共有から次の一手を考え実践に結びつける



ウェルビーイングを目指す学校経営

校長の日々の実践

③情報発信を図る

- ・子ども一人ひとり→学級・学年・学校の子どもたち well-beingの状態を積極的、意図的に発信する

⇒ <家庭・地域・社会向け>

- ・毎日の学校ホームページ
- ・毎月の学年だより、学校だより
- ・学校説明会 ・PTA会合
- ・学校運営協議会 ・地域内各種会合

<教職員向け>

- ・面談 ・毎週の指導計画案へのコメント
- ・毎週の校長室通信 ・各種業務打ち合わせ





花鳥風月 つながるなかま まち いきいき 大浦っ子

4月 5月

イラスト・文字 校長 尾上伸一

春の校庭



校門をくぐると校庭の花や緑が目に飛び込んできます。

春の自然観察が、伊勢の山と海の中を駆け巡ります。

来年度(令和5年度)に迎える創立150周年の節目に向けて、六浦小学校の伝統「花鳥風月」を大切にしたい学校づくりを一步、二歩と進めていきます。子ども一人ひとりの様子を毎日つぶさに見続け、成長や変化を見逃さず、全職員がチームとなって支援していきます。学習では子どもたちの「こんなことやりたい」「勉強が楽しい」というつぶやき・表現を大切に、主体的に取り組まれるように配慮し、学習活動の積み上げが、学びやすく体験を通して学べる学校へとさらに変貌していくように指導を続けていきます。これら日々のむつうらっ子の学校生活、学習の様子については学校ホームページでお伝えしていきます。特に創立150周年に向けた取組では、保護者・地域の皆様にも様々にご支援をいただきます。開校150年の歴史を持つ学校に対する愛校心を子どもたちに育てていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



花鳥風月 つながるなかま まち いきいき 大浦っ子

7月



2年生 バケツで育てているキュウリのお世話です



3年生 小学校で初めてのプール学習です



4年生 イカダを作って野島の海に漕ぎ出しました

夏に鍛える むつうらっ子

校長 尾上伸一

7月を迎えます。1年生の育てているアサガオがぐんぐん育ちアサガオトンネルができそうです。2年生の心を込めて育てている夏野菜も収穫までできるようになりました。3年生が大切にしているカイコはどんどん繭玉をつくっています。4・5組農園で収穫した玉ねぎやジャガイモは、レストランのシェフに料理の仕方を教えてもらうことになりました。国際教室の皆さんは、香りの専門家の先生から調香を教わってオリジナルの香水をつくりました。4年生は野島宿泊体験学習を経て今はフラワーロードの整備に取り組んでいます。5年生が田んぼに植えた稲の苗も緑が濃くなり背丈も伸びました。そして6年生は6月30日～7月1日と日光への宿泊体験学習に出かけてきます。待ちに待った修学旅行が最高の思い出となるように準備を進めてきました。

6月中に梅雨が明け、真夏の暑さの中の7月の学校生活となります。それでも子どもたちはのびのびと明るく学校生活を積み重ねています。「夏に鍛えるむつうらっ子」今年の夏も家庭や地域で様々にお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

校長の日々の実践

④配慮していること

- ・ 毎日続ける ⇒
 - ・ 登下校時の通学路見守り
 - ・ 授業観察（午前2回、午後1回）
 - ・ 学校ホームページ配信のための取材
 - ・ 各学年・学級の「自分づくり教育」展開への助言
 - ・ 児童指導、教育相談面での支援会議
- ・ 強みを生かす ⇒
 - ・ 生き物好き
 - ・ 体力がある
 - ・ 環境復元、栽培、農作業の経験豊富
 - ・ 社会に豊富なネットワークをもつ
- ・ （自らの）課題 ⇒
 - ・ アンガーマネジメント
 - ・ 夢中になりすぎる
 - ・ 傾聴の姿勢 …



むつうらっこニュース



2022. 6. 22. NO. 23

つながる なかま まち いきいき 六浦っ子

6月20日(月) 真夏日の一日。水泳が始まりました。

登校風景



月曜日 一週間の始まりです。登校見守り、今週もよろしくお願いします。

5年生 朝の会



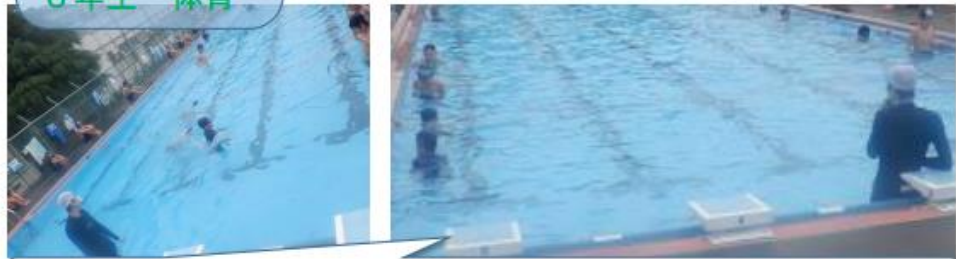
5年生 朝の会では今日一日のめあてを話したり、予定を確認したりしました。

1年生 保健 プライベートゾーン



1年生 「よいタッチ」「わるいタッチ」からプライベートゾーンを大切にすることを学びました。

6年生 体育



6年生 1・2時間目 全校のトップを切って水泳学習を行いました。3年ぶりのプールでの学習が始まりました。

全校 縄跳び集会



3時間目 運動場では「全校長縄跳び集会」が開かれました。クラス対抗で行われ、みんな練習の成果を発揮できました。

6月21日(火) 午前中は真夏の暑さでした。

登校見守り



毎朝の登校見守り有難うございます。今日も元気に行ってきます。

朝会



朝会では明日に迫った国際平和スピーチコンテストで発表する6年生代表児童のスピーチを全校で聴きました。そして委員会紹介では委員長の皆さんが「みんなで力を合わせてますます良い学校にしていきたいと思います。」と各委員会の活動を紹介していました。

1・2年生 水泳学習



1・2時間目は1年生。3・4時間目は2年生がプールでの水泳学習に取り組みました。



国際教室



国際教室 算数で分度器を使って角度を測ったり、筆算の計算方法を考えたりしました。

4年生 書写(毛筆)・総合



4年生 毛筆書写では「雲」の字を書きました。総合では東門周辺に夏の花「日日草」を栽培してプランターでフラワーロードにしました。

456組 学級会



456組 クラス目標が「はくちょう」に決まりました。読み聞かせで「白鳥」の話を聴いたり、すてきな「白鳥」になるための活動を考えたりしました。

3年生 道徳



3年生 道徳でSDGsのことを考えたり、お話から「友だちとしんらいしあう」大切さを学んだりしました。

小学校でのwell-beingの目標

- ・ 子ども一人ひとりが幸福や生きがいを感じ取れるカリキュラム、教育環境、人的なネットワークを整備すること
- ・ 子ども一人ひとりの幸福や生きがいが学級・学年・教室・学校全体の生きがいにつながり、家庭や地域社会に広がっていく



子ども一人ひとりのwell-beingの向上は、学校や学区のwell-beingの醸成でもあり、その広がりが多様な個人を支える

テーマ別研究会
生活科 Well-being 探究隊
2022. 6. 20. 2校時
六浦小学校 2年1組



いろんなことが出てきたんだけど
ハッピーになる
それが実現する Well-being

Well-being Dialog Card

おぞくせんくんで
ワハハ！
キャンプにい
た
たんじょう
みんなはどんなことが
あったらハッピーかな
ねてること
キャンプに行く
犬ががえる
あしたの
かぞくみんなで
サッカーで
MVP
サッカーを
言わない
キャンプにい
く
犬ががえる
あしたの
かぞくみんなで
サッカーで
MVP

✕手の中

海でキャンプ
なめなから
うきわでういた
おばあちゃんのをい
いつもゲーム
3はく4日
キャンプに
いく
北海道
にいくこと
なつやすみ

じこからだか元気
・ やってみよう
・ ありがとう
・ うんどうしてきもちいい



↓
いろんな会社で Well-being をやっている
G.I.F. 新聞
HARVARD UNIV. 大学で人気の授業
Well-being 幸せになる研究

じこからだか元気だと
いいことがいっぱい...
X よい人生 → しあわせ
O しあわせ → よい人生

先生が お話したことを隣の
人と感想を出しあう？

わたしは、
頭よはたらく
方法があるん
だよね
アイデアをいっぱい
出したい
お兄ちゃんも
やさしい。
わたしは幸せ、
ていえば幸せが日

どうすれば Well-being になりますか？
ハピネスブースター！
毎日できることで自分が
ハッピーになること



かぞくといること
本を読む
ゲームをすること
うさぎを
さわりたい
おゆを
たべると
ぬる
サッカー
出かける
こと

- ふりかえりをしよう！
- Well-being って何？
 - Well-being って何が いいの？
 - ハピネス ブースター

Well-being でとりにくくしてみたいこと

もっと好きなことを
ふやしたい！
もっとしあ
わせに
ちきゅうせんたいをした
たなとおひつた。できる
までいっぱいやってで
るようになったときはた
のしみになりました
WELL-BEINGE
とりにくくしてみ
たいです。

なぜならしあわせになれるしけんこうになる
し人のためにこういことができるからです

2022. 6. 24.

「Well-being」の校内研修会



研修会の感想

- 幸せ物質が皆さんから出ている職場環境になれば毎日の仕事
が楽しいと思えると思います。凄く身になる研究、すぐにアク
ションができる研修でした。ありがとうございました。
- 楽しいことを考えながら研修に取り組めたので、研修が終わっ
た後も疲労感なく過ごすことができた。自分の幸せと向き合っ
ていきたい。
- 自分のことを見つめなおす研修内容で、とても勉強になりました。
- 今回のように、「幸せ」について考え、話せることのできる時
間そのものが幸せだと感じました。

研修会の感想

- 幸せになる方法を見失わずに、前向きにと生きようと感じた。改めて、人によって求める幸せの種類は違うんだなあと思った。
- よい人生が幸せなのではなく、幸せだからよい人生になるという言葉が心に刺さりました。どれか一つの要素を満たすのではなく、バランスよく要素を満たすことが、well-beingを達成できるために大切だと改めて考えました。
- お互いの価値観を知ることができてよかったです。またこのような研修会をもちたいと思いました。